（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	いくさか農業　松本山雅ＦＣとともに全緑登頂事業
事業主体 （連絡先）	生坂村農林水産物生産者組合 （0263-69-3111）
事業区分	（６）産業振興及び雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	４，２５９，６２５円（うち支援金：３，４０７，０００円）

事 業 内 容

１．農産物販売促進イベントの開催

村内の農業者、特産品開発団体が一堂に集まり、生坂村の魅力を感じられる農産物販売促進イベントを開催した。これにより、農産物の販売促進を軸として地域住民や生産者、消費者の繋がりを構築し、住民協働の取り組みを推進した。

２．193 カラットカードの配布

生坂村がぶどうの産地であることを積極的に PR するとともに、カード配布による話題性の喚起、コレクションマニアを中心とする来村動機の誘発を目的に、村内で栽培されているぶどうのカードを作成した。

【イクサカラットカード】

事 業 効 果

地域住民が一丸となり、生坂産農産物の販売促進に向けた取組みを行うことで、生産者相互のコミュニティの強化が図られるとともに、現地へ来てもらうための情報発信により、来場者数の増加に直結した。また、積極的な情報発信により、農産物の販売促進が図られ、農業所得と農業者の意欲向上に繋がった。これらの取組みにより以下の効果が得られた。

来場者数　目標値：66,838 人
　　実　績：68,992 人
売上高　　目標値：74,126 千円
　　実　績：107,159 千円

【目標・ねらい】

①農産物の販売促進、高付加価値化
②農業者の意欲・所得向上
③農産物直売所の売上・来客数の増加

※自己評価【　Ａ　】

【理由】
農産物直売所の来場者数・売上ともに目標値を大きく上回り、農業者の所得向上と来村動機創出につながった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

農産物販売促進イベントを継続的に実施することで、地域住民や農業者等の意欲を高め、イベントの充実化を図るなど、発展的に取り組みを進めていく。また、本事業をきっかけに来場者数が大幅に増加しており、より一層の農産物の充実化を図る必要がある。このため、近隣自治体の農産物直売所等との連携を図り、各地域の弱みを補完し合うとともに、農産物の販路拡大にも繋げる。そして、本事業の取組みを更にブラッシュアップし、より高い効果が得られるよう、関係者との連携を強化し、農業の振興を図っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「Ａ」：予定を上回る効果が得られた　「Ｂ」：予定していた効果が得られた
「Ｃ」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある